

「率先垂範」を 意識した1年

「率先垂範」を
意識した1年

井本賢吾27 中学校教諭

(荒尾市)

教員初任3年目が終わ

ろうとしています。本校
の門を初めてくぐったあ
の日は、昨日のことのよ
うに感じられます。あっ
という間でしたが、多く
の学びがあり、私にとっ
てとても幸せな3年間で
した。

その中で私の中に一番
強く残っている学びは、
「率先垂範」ということ
です。荒尾四中生と接し
た3年間を振り返ると、
1年目、2年目は率先垂
範できなかった場面が多
々あったと思います。

子どもたちは、初任者
であっても他の経験豊か
なベテラン教員であって
も、同じ目線で私たちの

ことを見てきます。教員
が準備不足であったり、
気を抜いていたりする
と、子どもたちもその通
りの反応で返してきま
す。

ため息が絶えない日々
もありましたが、その時
に、私の中に強く突き刺
さった言葉が率先垂範で
した。初任3年目、新し
く赴任してこられた校長
先生が、この4文字を職
員室の出入り口に大きく
掲げられました。

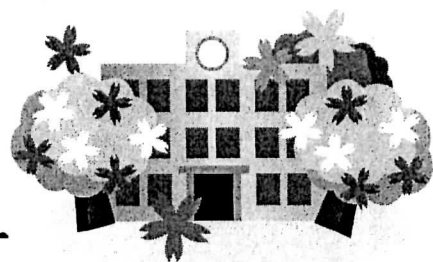
この1年間、私はた
くさん学校の全体の場
に出させてもらい、その都
度、子どもたちの手本と
なる行動をと意識しなが
ら取り組んできました。
特に、あいさつは目を見
て、頭を下げて、気持ち
よくできるように、私自
身が荒尾四中で一番あい
さつが上手な人であり続

けるようにやってきました。

もちろん私1人の力で
はありませんが、今年1
年間で荒尾四中生は、あ
いさつを含め大きく変わ
ることができました。

この率先垂範という言葉
葉を常に胸に刻みなが
ら、また次の学校の子ど
もたちと関わっていきたく
いと思っています。

大きく 変わる



～あいさつは、目を見て頭を下げて

気持ちよくできるように～

～荒尾四中生は、今年1年間で大きく変わる
ことができた～